

エジプト投資を再開する海外企業および政府系ファンド

エジプトの大手投資会社CI・キャピタルは最新レポートの中で、一連の政変によりエジプトに不安状態が生じたにも関わらず、同国の力強いファンダメンタルズは健在であると述べた。

サウジ・エジプシャン・ツーリストティック・デベロップメント・カンパニーは、アリ・ユナイテッド・バンクとエジプト観光拡大事業へのLE7.5億(1億2,500万ドル)のファイナンス契約でほぼ合意に達し、うち7,000万ドルはグランドハイアットとシェラトン・ハルガダ・ホテルの改装に投じられ、残りの5,500万ドルは債務返済に充てられる。同社は今年度、観光セクターに総額LE31億(5.2億ドル)を投資する計画である。

海外のエジプト投資への意欲は未だ衰えていない。インテル・コーポレーションは、傘下のインテル・モバイル・コミュニケーションを介して、ソフトウェア会社のSySDソフトの資産の大部分の買収を発表した。サウジアラビアの実業家グループは、LE1,000億(約1兆7,000万円)を投資してエジプト開発銀行の新規設立を計画している。更にスウェーデン大手電機メーカーのエレクトラクスは、中断されていたエジプト家電メーカーのオリンピック・グループとの買収交渉を再開し、同社の株式を100%購入する予定であると発表した。

イギリス大手製薬会社のグラクソ・スミスクラインは、エジプトのヘルスケア産業への投資を拡大すると今週発表した。今後5年間でLE5億ドルを投資し、研究開発、製造ライン設備、スキル開発プログラムを新設および強化する。同社の中東地域副社長は、今回の投資額が示すように、エジプトの将来は約束されていると強気な見方を示した。

また、クウェート投資庁(KIA)は、エジプトの株式市場に10億ドルを投資する新会社を設立すると先週発表した。同庁はエジプトの将来に対して強気な見方を示しており、同国への投資が成功する確信を持っているとの考えを示した。同庁のエジプト総投資額は150億ドルにのぼる。アブダビ政府系投資会社インベストAD'sアセットマネジメント・アームも同様に先月末からエジプトへの投資を再開した。

エジプト投資庁は、新規に設立される産業プロジェクトやフランチャイズ企業の設立手続きの簡素化など多岐に渡った投資インセンティブを承認した。今回の政変騒動により海外からの投資が減少したが、エジプト暫定政権は勢いを取り戻すべく海外投資誘致活動を既に開始している。

2011年の同国への投資額は前年比13%の減少となり、海外直接投資(FDI)は26億ドルに減少すると予想される。しかし、その後は新憲法により同国が不正のないクリーンな民主化経済に向かうにつれて、より良い投資環境が生まれることは確実だろう。

参考資料:CI・キャピタル、アラブ・ファイナンス

■当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果および市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は投資家の皆様にエジプト市場のご理解を高めて頂くために作成した資料であり、証券取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、特定ファンドの勧誘、販売を目的としたものではありません。